

九州民放クラブだより

熊本のクラブ運営

下田 和喜(RKK)

私たち九州民放クラブ熊本は、1994年（平成6年）5月11日に誕生してからずっと、事務局を(株)熊本放送（RKK）の総務部内に設置させて貰っています。

RKKには「旧交会室」という会議スペースがあります。1999年に社屋を建て替えた時、会議室の並びに旧交会（RKKのOB会）用の部屋が割り当てられたのです。この6階にある旧交会室をお借りして2ヶ月に1回のペースで理事会を開催しています。



理事会の様子

現在、8名の理事がクラブのお世話をしています。60代、70代、80代と世代バランスはとれていますが。しかし、会員数はここ数年右肩下がりです。令和2年度は52名となりそうです。

今のクラブ課題は何かと問われれば、クラブの催しへの参加者が少ないことです。会員の高齢化が最大の原因です。新規の加入者はあるのですが、これもまた少ないのです。

さて、2020年度の目標は、クラブ事業への参加者を前年より一人でも多く獲得することです。

5月開催「総会と懇親会」、9月に新企画を提案する「観月会」、10月「ゴルフコンペ」、1月「新年囲碁大会」、2月「女性のつどい」、3月「歴史散歩とグルメの旅」と、参加したい、と思っただけの事業を開催してまいります。

日本民放クラブの会報を通してクラブ会員の情報共有が図ればとの思いで、会報発送作業を熊本市北区の片隅でやっております。民放クラブの活動が健康寿命を延ばす一助になれば幸いです。

OBが制作した番組をライバル局で放送

前田 憲幸(UMK)

私達UMKテレビ宮崎出身者が制作した、歴史ドキュメンタリー番組「戦国の武勇・島津義弘」が今年の1月、かつて競争相手であったMRT宮崎放送で放送された。

開局65年の宮崎放送、開局50年のテレビ宮崎。これまでの長い歴史のなかでも大変珍しいことである。同期の友人やOBの方々も驚いていた。

実は40年ぐらい前の現役時代、テレビ宮崎の人気番組だった「さんさんサタデー」で、宮崎放送の渡邊得祥プロデューサーにスタジオ出演していただいたことがあった。番組では当時話題になっていた青島ビーチでのハイレグ水着の話で大いに盛り上がった。

競争相手の宮崎放送現役プロデューサーの出演という滅多にないことだったので局内でも話題になったし、視聴者の反響も大きかった。ライバル局の壁を乗り越えた番組出演は視聴者の関心も高く注目度も高かったように思う。

「戦国の武勇・島津義弘」は、宮崎県えびの市の「市制施行50周年

記念特別番組」。放送先が決まらず困っていた時に、たまたま宴席でお会いした宮崎放送の春山豪志

会長にダメ元でお願いしたところ、「うちで放送していいよ」と快く引き受けていただいた。会長の懐の大きさに感謝の気持ちでいっぱいである。

また宮崎放送の皆さんには事前のプレビューに立ち会ってもらい、スーパームスなどを指摘していただき無事に放送できた。とんでもないことをお願いしたと反省しながらも肩の荷が下りてほっとしている。窓口でお世話いただいた総務局や技術局、関係の皆さんにも心より感謝！

九州民放クラブ宮崎結成25年の歴史のなかでこのようなうれしいニュースを全国の皆さんにお届けできて喜んでいいる。



番組タイトル